

# 岡田さん優等賞1席

三重・大紀町七保  
肉牛共進会

## 4年連続受賞

【三重・伊勢】大紀町七保肉牛共進会が20日、同町のJA伊勢肉牛集出荷場で開かれた。この日は雌牛48頭が出品され、審査の結果、優等賞1席には同町の岡田一彦さん出品の「なをただ1」が輝いた。岡田さんは4年連続で



優等賞1席に輝いた岡田一彦さんと「なをただ1」(20日、三重県大紀町で)

の1席となった。

「なをただ1」は体重675キ、体高133センチ、胸囲232センチ。父が「丸若土井」、母の父が「忠隆土井」。500万円(税別)で朝日屋が購買した。出品牛のうち13頭が「特産松阪牛」に当たる。

審査を担当した県畜産研究所の梅木俊樹主査研究員は「背腰の幅、張りが極めて豊かで、各部位のバランスが良く、全身の移行が非常に滑らか。被毛の質も良く、輪郭がしなやかで、特産松阪牛らしい品位に優れる」と講評した。岡田さんは「手塩にかけて肥育してきた。4年続けて1席を獲得できてうれしい」と喜んだ。

「七保牛」は、同地域で肥育される黒毛和種で、優れた血統を持つ未経産の雌牛をいう。中でも兵庫県産(但馬系)の子牛を松阪牛生産区域で900

日以上肥育したものを「特産松阪牛」という。肉質の良さで人気を集めている。

その他の優等受賞者は次の通り。

▽2席＝中村畜産▽3席＝藤原靖世▽4席＝岡田一彦▽5席＝鳥田真吾